

第3講 東アジア史の重要テーマ (I)

I 次の文中の下線部に関する問いに答えなさい。

中国文明の出発点をなす農耕文明は、①黄河・長江の2つの大河を中心に展開した。黄河流域では大小の集落(邑)が点在し、氏族制のもとで共同体的な生活が営まれていた。やがて、周辺の邑を服属させて組織化した都市国家(大邑)が現れ、確認できる最古の王朝である②殷(商)が成立した。ついで紀元前11世紀頃には、西方辺境の氏族が③周王朝を樹立した。④春秋時代には有力な都市国家は領域国家へと成長していく。前403年の⑤晋の分裂以降の時代を⑥戦国時代と呼ぶ。春秋・戦国時代には、政治や社会をめぐる多くの思想が生み出され、⑦諸子百家と呼ばれる思想家たちが現れた。富国強兵政策をすすめる国々は周辺の小国を併合し、⑧戦国の七雄と呼ばれる7つの強国が並び立った。そのひとつである秦は商鞅の改革で国力を高め、他の6カ国を征服して前221年に中国を統一した。しかし⑨始皇帝の過酷な政治は強い反感を呼び、秦は統一後わずか15年で滅亡した。反乱勢力の中から現れた劉邦が中国を統一して漢を建てた。漢王朝は⑩武帝の時代に最盛期を迎えた。

[問 い]

- ① 黄河中流域の仰韶文化に関する記述として、正しいものはどれか。
- a. 城子崖遺跡の発掘により、その存在が明らかになった。
 - b. 集落遺跡として半坡遺跡や姜寨遺跡が発見された。
 - c. 三星堆遺跡からは青銅製の仮面が出土した。
 - d. 河姆渡遺跡からは稲粃が発見された。
- ② 殷に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. 二里頭の遺跡の発掘により、その実在がはじめて証明された。
 - b. 湯王が夏を滅ぼして建国したとされる。
 - c. 占いを記した甲骨文字は、漢字の原型である。
 - d. 宇宙の支配者である帝と、王の祖先を神として崇拝した。
- ③ 周に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. 殷王からの禅譲を受けて王朝を建てた。
 - b. 犬戎の侵攻と内紛のために、都を洛邑に遷した。
 - c. 王はその一族や功臣などを諸侯として封建した。
 - d. 諸侯は王に対して軍役と貢納の義務を負った。